

一 齊法要のご報告

〔平成二十五年〕

孟蘭盆施食法会 六月二十八日、二十九日

法話 光真寺住職 黒田泰弘師

二日間にわたる孟蘭盆施食供養。初日は初盆供養。翌日は檀信徒の方々の供養を午前と午後に分けて二座をお勤めしました。

本寺光真寺住職の黒田泰弘師に二年続けてご法話いただきました。ご法話の最後にみんなで「有難うございます」と十回のお唱えさせて頂き、心あたたまるお話が、さらに胸に染み入るようでした。

— ニュース・アラカルト —



秋彼岸法会 九月二十日

法話 長泉寺住職 水庭浩章師

午前・午後あわせて六百名の方が、心に菩提の種を蒔きに参拝されました。

冒頭、善光寺留学僧育英会の第二十四回育英生・樋口星覚師より、檀信徒の皆様にお礼の挨拶がありました。師は現在ドイツに在住し坐禅堂を開くなど活躍されています。

ドイツでの布教の難しさを述べつつも、困った時には皆様の事を思い出し、応援してくれる人がいると思うと力が湧いてきますと、感謝の言葉を口にされました。

檀信徒の皆様の尊い浄財が若く有望な人材を育てて下さっています。心から心へ、皆様のご理解・ご協力に心より篤く深く感謝申し上げます。

水庭師の法話は34ページをご覧ください。

— ニュース・アラカルト —



水庭浩章師



樋口星覚師

【平成二十六年】

新年祈祷会 一月九日

法話 当山住職

昨年から始まった、善光寺講座『論語からのお話』に因み、今年目標は学習ですと宣言。

子曰く、学^{まな}びて時^{とき}に之^{これ}を習^{なら}う、亦^{また}悦^{よろこ}ばしからずや。朋^{とも}、遠^{えん}方^{ほう}自^より来^{きた}る有^あり、亦^{また}楽^{たの}しからずや。人^{ひと}知^しらずして、慍^{いきどお}らず、亦^{また}君子^{くんし}ならずや。



ニューズ・アラカルト

節分追難法会 二月三日

善光寺総代 東郷敏氏

節分に因み暦の「二十四節季」。

大自然の摂理、地球の自転や子午線・黄道や大円などについてユーモアを交えて説明して下さいました。

ご祈祷の後は恒例の豆まき。魁^{かい}聖^{せい}関^{かん}らによる豆まきも今年で三年目。今年特別に友綱部屋の力士衆による、ちゃんこ鍋も振舞われました。

「福はうち！」この一年皆さまに障りなく厄除け、招福ご多幸をご祈念致しました。

(写真は巻頭のグラフページをご覧下さい)

春彼岸法要 三月十九日

法話 観音寺住職 黒田法正師

四月に予定されている伊勢神宮参拝旅行に因み、ご自分の師匠である光真寺先代住職黒田俊雄老師と参拝した時のエピソードを話して下さいました。

神前、神様の前でも大きな声で般若心経を唱えられた師匠との思い出を語り、今度の参拝には「是非、一緒に『般若心経』をお唱えしましょう」と誘われていました。

続いて廻向の後にお唱えする「略三宝」についてのお話。皆さま一緒にひと際大きな声でお唱えをして法要が結ばれました。

十方三世一切仏

諸尊菩薩摩訶薩

摩訶般若波羅蜜

ニュース・アラカルト





やすらぎの塔開眼式・

合同合祀慰霊祭

横浜やすらぎの郷霊園内に合祀施設「やすらぎの塔」が建立され、去る五月十二日、住職導師の下、「やすらぎの塔」開眼式と、合同合祀慰霊祭が執り行われました。

合同合祀慰霊祭では、やすらぎの碑より安置期間の経過した御霊をやすらぎの塔へ埋葬致しました。縁故者や関係者ら二十名を越す参列の中、一時間半にわたり、ねんごろなるご供養が営われました。

大きな供養塔の正面に「やすらぎの塔」と刻まれている文字は住職による揮毫。

桜の木々の間、やすらぎの塔と並び、やすらぎ観音さまが優しく微笑みかけて下さいます。

ト ル カ ラ ・ ア ラ カ ル ト ・ ヌ ー 二



溪流釣りに行ったたり、シヨツピングダに行ったたりしました。私たち兄弟を我が子のように面倒を見てくれました。

私が成人し、永平寺での修行期間中、半年ほど吉峰寺というお寺に配属されました。このお寺は永平寺から車で三十分から四十分の所になりました。そこに配属されている時に、ある日突然伯母が励ましに来てくれました。

そのお寺は山の上に在り、険しい山道を登らなければ来ることのできない場所にあります。階段が二百段近くあるのではないかという大変厳しい山道で、そこを両手いっぱい差し入れの野菜や果物を持って上って来てくれたのでした。

本当に嬉しかったです。ありがたかったです。

これは伯母が、ただただ私のことを思っ

ニュー・アラカルト

てくれたことなのです。

思っけても行動に移すことがなかなか出来ない事も多い中、伯母は、なんでもすぐに行動に移し、みなさんのお世話をしてこられました。福井訛りのイントネーシヨンで少しせつかちに話すその言葉も、もう掛けてもらえないと思うととても寂しい気持ちで一杯になります。

十年前、師父が遷化した朝も、年の暮れで常在院も忙しいのに泊まり込みで面倒を見てくださり、とても心強く感じた事を思い出します。

「大変な事になったけど、みんなで助け合うから、ひろちゃん頑張つてなあ」と、何度も励まして頂きました。

母とは話し方も性格もちがう伯母でしたが、寺族として住職を支え、寺を護るその信念の強さ、芯の通つたまつすぐな心は似ている姉妹だと感じます。

亡くなる前の年の三月に横浜に來られた際に、私の子供をみてくれた時が、最期のお別れとなつてしまいました。

伯母を思い出すとき、とりとめのない思い出が胸にあふれますが、今はただ、ただありがとうございますと感謝の言葉があるのみです。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
ありがとうございます。

— ニュース・アラカルト —





33号

1ハ	2ナ	3ミ		4ウ	ツ	5キ
6ツ	バ	キ	7ヒ	メ		ゴ
8ハ	ナ	サ	キ		9ハ	
ル		ー		10シ	ラ	11キ
	12イ		13カ	リ	モ	ノ
14マ	チ	15ウ	ケ		16チ	カ
17ア	ズ	サ	ユ	ミ		ワ

答え ハナマツリ
(花まつり)

31号

1サ	ン	2キ	3カ	4イ		5カ
ン		6シ	ク	ハ	7ツ	ク
8ボ	9サ	ツ		10イ	イ	ネ
11ウ	ン		12ヒ		13ト	ン
	14ゲ	ン	ジ	16ヨ	ウ	
18タ	モ	17ア	キ		19タ	
18ジ	ン	ム	テ	ン	ノ	ウ

答え ボダイノタネ
(菩提の種)

【クロスワードパズルの答え】